

職業新聞

発行所

西浦支援学校

高等部

7月15日

第1号

農福連携事業で授業内実習の実施

授業内実習に行ってきました

農福連携事業の一環で西浦支援学校、大阪公立大学、大阪府立環境農林水産総合研究所（農業大学校）の共同プロジェクトでブドウ栽培を始めました。

【農福連携事業とは・・・】

農福連携は障がい者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。

近年、農福連携の取り組みは、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や、高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながるなど、相乗効果が期待されています。

【芽かき作業】

芽かきとは、たくさんでてきた新芽のうち、不要な芽を取り除き、芽の数を制限することで、貯蔵養分の無駄な浪費を防いだり育ちの強さを揃えたりすることで、ぶどうを作るための初めの作業です。



【果穂整形（かすいせいけい）】

いわゆる「間引き」です。そのまま放置したら大粒の良い房になります。粒の間隔が狭くても、粒が大きくなった時にお互いに押し合って変形したり潰れてしまったりします。



【ジベレリン作業】

種なしぶどうを作るには、花房をジベレリン液（植物ホルモン液）に浸すことで、種を作らずに実をつけることができます。



【摘粒】（てきりゅう）

実の太りを良くするために傷の付いたものや小さいものの中に入り込んだ余分な実を落とします。



【袋かけ】

雨や日差し、害虫や鳥から実を守るために行います。あとは収穫まで待ちます。

